

日野町のブランド米、全国へ！  
株式会社米子高島屋と海藻米の仕入れ取引を締結



今後の展開に期待を寄せる松本さん(左から2人目)

9月7日、町役場で、海藻米の株式会社米子高島屋との仕入れ取引の締結が行われ、生産者である株式会社優栽の松本洋一さん(根雨)をはじめ、米子高島屋の森紳二郎代表取締役社長、景山町長らが出席しました。

海藻米は、中海で採れ、境港市で作られた海藻肥料を使った日野町産米コシヒカリ。今回の仕入れ取引にあたっては、コメのおいしさだけでなく、松本さんが取り組んできた豊かな里山と海の環境保全を図る循環型農業なども高く評価されました。

会場では、併せて、新商品名を「鳥取海藻米」「奥日野海藻米」とすることも発表されました。高島屋で取り扱われる「鳥取海藻米」は、当面は米子店のみで販売され、お歳暮やオンラインショップ、ギフト、フェアなどで全国へ情報発信していく予定となっています。

松本さんは、「日野町の標高450mの夏季冷涼な気候とおいしい水、海藻肥料が合わさり、とてもおいしい米ができた」と話し、「今後も、自然に優しい農業、そして、そこで育ったおいしい米を高島屋の力を借りながら、全国へ発信していきたい」と抱負を語りました。



商品名とパッケージも一新された海藻米

日野町の自然を感じながら交流を深めたい  
さまざまな芸術家などが集まり交流「源流祭」



体を揺らしたり目を閉じたり、思い思いに楽しむ

9月17日から19日の3日間、鵜の池キャンプ場で、一般社団法人里鳥(石村勇人代表)主催の源流祭が開かれました。

これは、農村と都市の交流・世代間交流を目的に、元町地域おこし協力隊の石村さんが企画したキャンプイベントで今年で2回目。今回も、県内外で活動している芸術家や団体が集まり、野外で音楽やアートを体験してもらおうと、さまざまな催しを行いました。

鳥取荒神音楽研究会(伯耆町)による舞や桂小文吾さんの落語、人形浄瑠璃などの披露のほか、3日間にわたり、30組以上の楽器演奏バンドが出演し、会場を盛り上げました。そのほか、地元の特産品の販売やバザー、フリーマーケットの outlet、キッズペイントやヨガのワークショップなども行われ、子どもから大人までイベントを楽しむ様子が見られました。

石村さんは、「開催期間中、天候が心配されたが、参加者全員で工夫しながら楽しくできた」と話し、「今後は、もつと地元からの出店や参加を増やしたい。また、源流祭に限らず、キャンプ場の活用についても考えていきたい」と意欲をみせていました。



鵜の池の自然に囲まれながら創作活動



トップアスリートが教える上達のコツ  
ソフトテニス講習会 in 日野町



アドバイスする篠原さん（左）



トップアスリートの技術を間近で学んだ一日となりました

国内外で活躍するソフトテニスのトップアスリートを招き、指導を行ってもらい、上達のきっかけをつかんでもらおうと、9月22日、江府町総合体育館で、「ソフトテニス講習会 in 日野町」（日野町、町教育委員会主催、ヨネックス株式会社協賛）が開かれました。

講師は、東アジア大会金メダル、天皇杯優勝3回を誇る篠原秀典さん（日体桜友会）や全日本社会人優勝2回の村上雅人さん（N T T 西日本広島）をはじめ、川淵泰直さん（ヨネックス株式会社）、花田周弥さん（町体育指導員）の4人。日本を表す豪華な顔ぶれに、参加した県西部の小中学校および高校の生徒ら約150人は、真剣な表情で4人の話を聞いていました。

4人は、日本代表選手が実際に行っているストレッチや、ストローク、サーブの打ち方などを身振り手振りで丁寧な指導。篠原さんは、「良い選手のプレーを見て学ぶことは大事。自分なりに『これだ！』というものをつかんでほしい」と話し、「上達のコツは『楽しむ』こと。そして、あきらめずにどんどん新しいことにチャレンジしてほしい」と、エールを送っていました。

“地域を知る” 医師を目指して

鳥取大学医学部の医学生が交流活動



心臓マッサージのリズムにも気を付けてと学生

8月23日、鳥取大学医学部地域医療学講座（谷口晋一教授）の医学生5人と同講座の医師らが、町内で地元住民らと交流活動を行いました。これは、医学生が大学では体験できない地域との交流を通じて、その暮らしや環境などを理解できる医師に育ってほしいと行っているものです。当日は、町内の小学校の子どもたちと夏休み体験教室で、心肺蘇生の講習を行いました。医学生らは、実際に人形やAEDを使いながら、命を助けるポイントを丁寧に説明。子どもたちと笑顔を交えながら交流を深めました。

ふるさとのことば

～日野弁なんずかんず～ 第39回

「べたこく」

子どもの頃、大人から「そげなとこおにべたこくな」と言われた経験はありませんか？

いわゆる標準語に訳せば、「そんなところ（地面など）に座るな」となりますが、日野弁の語感の方からは、地面にベターツと座り込んでいる子どもの姿が浮かんで、なんとなく楽しくありませんか。

「べた」の語源ははっきりしませんが、「へたる」「へたばる」「へとへと」などと関係があるかもしれませんね。

日野弁ピックアップ「へ」

- へえ…もう／すでに／もはや。⇒もおへえ。
- へえおい…塀。へぎ…スギなどを薄く切った板。
- へごむ…くぼむ／へこむ。へずる…減らす。削る。
- べったり／べっちゃん…メンコ（子どもの遊具の一つ）。
- へとり／へり…ほとり。端。へねる…すねる。
- へばりつく…ひつつく。ぴたっと付く。
- へんげた…変な（人）。へんてこな。
- へんこつ…変わり者／奇人。へんぜる…差し上げる。

協力：日野町歴史民俗資料館友の会